

上田 昌哉 議員 (主な答弁者:福祉健康部長)
心のケアを考え、連携の取れた自死対策を
 —今後も各課と連携を深め、自殺対策の推進を図っていく—

問 本市は働き盛りの30〜40代の自殺率が高くなっている。20歳代の若いサラリーマンが将来選択を誤らないためにも、命の大切さを啓蒙していかないといけない。本市は企業との連携を考えているか。

答 現在、心の健康に関する施策は福祉教育等の現場で行っているが、情報発信と収集を図り、団体を発掘するためにも関係部署との連携に努めていく。

問 行政のワーキンググループ等をつくる考えはあるか。

答 市役所関係各課の職員で構成される策定部会及び作業部会を立ち上げ、心の健康づくりを含めた議論をしている。今後も各課と連携を深め、自殺対策の推進を図っていく。

問 今年度は今後10年間の健康づくりの取り組み計画として、第2次健康日本21かりや計画を策定中である。心の健康に関する分野を位置づけ、ポスターやチラシ配布等の啓発事業を中心に企業等と連携を図り、心の健康づくりを推進している。

問 刈谷市民ボランティアセンターで活動している団体や傾聴ボランティア等、心のケアを考慮して活動している団体を活用するために、行政は協力することは考えているか。

答 建設費用はどれくらいかかるのか。また、市で積み立てしている公共施設維持保全基金を財源とするのか。

問 公共施設を利用する際、駐車場の満車のため施設利用を諦めるといった不便さを感じるものがあるが、現在、一時的にも利用率が100%を超えるような状況になることはあるのか。



昨年9月に実施された自殺予防週間のポスター

問 建設費用はどれくらいかかるのか。また、市で積み立てしている公共施設維持保全基金を財源とするのか。

答 建設費用はどれくらいかかるのか。また、市で積み立てしている公共施設維持保全基金を財源とするのか。

鈴木 浩二 議員 (主な答弁者:企画財政部長)

公共施設の混雑時に駐車場が不足することへの対策を
 —公共交通機関等の利用促進や近隣駐車場の相互利用などに対応—

問 公共施設を利用する際、駐車場の満車のため施設利用を諦めるといった不便さを感じるものがあるが、現在、一時的にも利用率が100%を超えるような状況になることはあるのか。

答 公共施設駐車場の有料化については、利用者の負担感を増加させ、施設の利用率の低下もつなげることが懸念されるため、現状では有料化は考えていない。また、駐車場が満車になることが予測される場合の対策については、今まで以上に公共交通機関の利用促進や、近隣の公共施設の駐車場を相互利用するなど、事前に対策を図り、快適に公共施設を利用していただくよう努めていきたいと考えている。

問 公共施設を利用する際、駐車場の満車のため施設利用を諦めるといった不便さを感じるものがあるが、現在、一時的にも利用率が100%を超えるような状況になることはあるのか。

答 公共施設駐車場の有料化については、利用者の負担感を増加させ、施設の利用率の低下もつなげることが懸念されるため、現状では有料化は考えていない。また、駐車場が満車になることが予測される場合の対策については、今まで以上に公共交通機関の利用促進や、近隣の公共施設の駐車場を相互利用するなど、事前に対策を図り、快適に公共施設を利用していただくよう努めていきたいと考えている。

問 公共施設を利用する際、駐車場の満車のため施設利用を諦めるといった不便さを感じるものがあるが、現在、一時的にも利用率が100%を超えるような状況になることはあるのか。

答 公共施設駐車場の有料化については、利用者の負担感を増加させ、施設の利用率の低下もつなげることが懸念されるため、現状では有料化は考えていない。また、駐車場が満車になることが予測される場合の対策については、今まで以上に公共交通機関の利用促進や、近隣の公共施設の駐車場を相互利用するなど、事前に対策を図り、快適に公共施設を利用していただくよう努めていきたいと考えている。

問 公共施設を利用する際、駐車場の満車のため施設利用を諦めるといった不便さを感じるものがあるが、現在、一時的にも利用率が100%を超えるような状況になることはあるのか。

答 公共施設駐車場の有料化については、利用者の負担感を増加させ、施設の利用率の低下もつなげることが懸念されるため、現状では有料化は考えていない。また、駐車場が満車になることが予測される場合の対策については、今まで以上に公共交通機関の利用促進や、近隣の公共施設の駐車場を相互利用するなど、事前に対策を図り、快適に公共施設を利用していただくよう努めていきたいと考えている。

山崎 高晴 議員 (主な答弁者:教育部長)
特別支援学校建設に向けての取り組み状況は
 —小垣江東小学校の敷地内に整備していく—

問 特別支援学校建設候補地として、どのような場所があげられたのか。

答 市内小中学校、市が所有している用地、民間が所有している用地の計9箇所である。

問 その中で小垣江東小学校を選んだポイントは何か。

答 障害者である児童生徒が、障害者でない児童生徒と共に教育を受け、様々な交流を図ることが望ましいと考え、既存の学校に整備することとした。当校は敷地も広く増築の余地があり、幹線道路が整備されており衣浦定住自立圏域全体からのアクセスに優れているためである。

問 建設費用はどれくらいかかるのか。また、市で積み立てしている公共施設維持保全基金を財源とするのか。

答 建設費用はどれくらいかかるのか。また、市で積み立てしている公共施設維持保全基金を財源とするのか。



建設予定地の小垣江東小学校

問 建設費用はどれくらいかかるのか。また、市で積み立てしている公共施設維持保全基金を財源とするのか。

答 建設費用はどれくらいかかるのか。また、市で積み立てしている公共施設維持保全基金を財源とするのか。

問 建設費用はどれくらいかかるのか。また、市で積み立てしている公共施設維持保全基金を財源とするのか。

答 建設費用はどれくらいかかるのか。また、市で積み立てしている公共施設維持保全基金を財源とするのか。

松永 寿 議員 (主な答弁者:福祉健康部長)

障害者を自立へつなげるまでの支援を
 —今年度は11月に障害者雇用アップセミナーを実施—

問 障害者を自立へつなげるまでの支援は、家庭や保護者だけでなく、企業等との連携も必要である。障害者への理解を深めてもらう活動や、雇用制度の説明等、企業に対し刈谷市はどのような取り組みをしているか。

答 今年度は、11月に障害者雇用アップセミナーを実施した。

問 今年度は、11月に障害者雇用アップセミナーを実施した。

答 今年度は、11月に障害者雇用アップセミナーを実施した。

問 今年度は、11月に障害者雇用アップセミナーを実施した。

答 今年度は、11月に障害者雇用アップセミナーを実施した。

問 今年度は、11月に障害者雇用アップセミナーを実施した。

答 今年度は、11月に障害者雇用アップセミナーを実施した。

白土 美恵子 議員 (主な答弁者:福祉健康部長)
国保データベースシステムの導入で医療費適正化を
 —システムを有効利用し効率的な保健事業を実施していく—

問 薬代が高額な方に対し、安価なジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額を通知する考えはあるか。

答 医療費の抑制に、特定健診の受診は非常に大切である。他市の事例も参考にしながら、受診率向上へつなげる取り組みを新たに実施していきたい。

問 差額通知は、ジェネリック医薬品普及のための有効な手段と考えている。国民健康保険システムの更新により、県から差額通知データを取得可能となったため、関係機関と調整しながら実施に向け検討したい。

答 国保連合会が持つ特定健診や介護保険の情報をデータベース化し、重点課題の抽出や保険者ごとの様々な分析が可能となるシステムである。組織体制の見直しや新たな費用も発生するが、効果的・効率的な保健事業実施のため、費用対効果も含め調査研究していく。

問 特定健康診査の受診率向上のため、岡山県総社市では「メタボ健診」を受け、1年間保険診療のなかった国保加入世帯に1万円を支給する制度を始めた。本市の考えはどうか。

答 基金の現在残高が12億円程度だが、それに関してどのような考えを持っているか。

問 基金の現在残高が12億円程度だが、それに関してどのような考えを持っているか。

答 基金の現在残高が12億円程度だが、それに関してどのような考えを持っているか。

問 基金の現在残高が12億円程度だが、それに関してどのような考えを持っているか。

答 基金の現在残高が12億円程度だが、それに関してどのような考えを持っているか。

編集後記
かけはし

◆新年を迎え1か月が経過しましたが、いかがお過ごしでしょうか。昨年をふり返ると、刈谷城築城480年の一環として誕生したマスコットキャラクター「かつなりくん」も、すっかりおなじみとなり、ゆるきやらグランプリでは1000体を超える応募の中、192位と健闘しました。全国区ではふなっしーやオカザエもんなどのご当地キャラが流行し、地域の活性化を担いまして。

◆市議会では、昨年の10月1日より議会基本条例を施行しました。市民の皆様に分かりやすい議会、開かれた議会を目指したもので、行政と議論をつくすために反問権を認め、議員の資質向上のために議員間で討議する場を設置しました。また、請願を設け、市民の声を聞く機会を広げました。12月議会にて早速2人の方が意見を述べられ、開かれた議会に一步近づけたのではないかと思います。

◆また、東京五輪誘致に国民の多くが歓喜し、プロ野球では楽天イーグルスの日本一で東北が盛り上がるなど、スポーツが日本を元気にしました。

◆12月議会では、15名の議員が、安全安心なまちづくり、特別支援学校の誘致などについて一般質問を行いました。これからも住み続けたいと思う刈谷づくりに努力して参りますので、本年も刈谷市議会をよろしくお願いたします。(議会広報委員会)

一方では、伊豆大島が大雨による大きな被害に見舞われ、世界的にも台風、竜巻などの

一方では、伊豆大島が大雨による大きな被害に見舞われ、世界的にも台風、竜巻などの